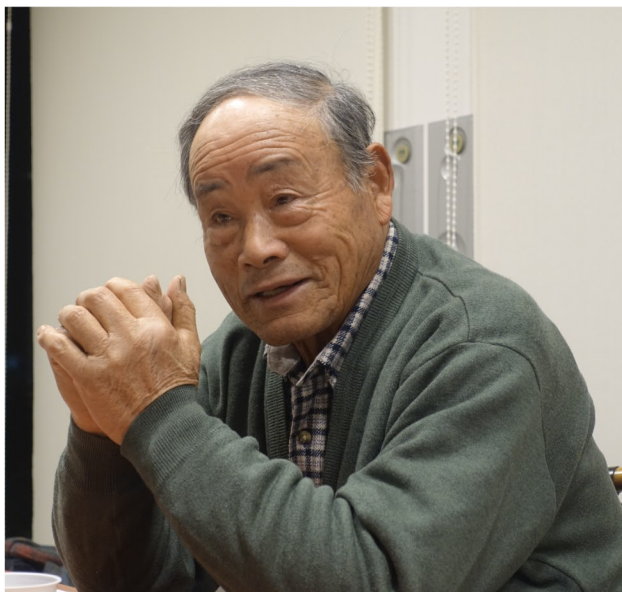


楽しい人生！



「見つける・みがく・光を当てる」芸術展
～小美玉に光を集めよう～
メンバー

はしもと よしひさ
橋本 悦久さん

「仕事も遊びも楽しいですよ」と笑顔で話す
橋本さん

みの〜れと共に生活するスタイル
Minole Life
のすすめ

No.150

今年も残すところ、後僅かになりました。平成から令和に変わり、十二支は一番最後のいのしし年でした。皆さんはどんな一年でしたか？花壇にはパンジーや葉牡丹が植えられ、私たちの目を楽しませてくれますね。池花池は今年も白鳥たちが飛来して賑やかにになりました。寒い日が続きますが健康に気を付けて新しい年をお迎えください。今回は芸術展のメンバーで小美玉市上馬場地区にお住いの橋本悦久さん取材します。

来年春にみの〜れ芸術展が新しく生まれ変わり、『見つける・みがく・光を当てる』芸術展く小美玉に光を集めよう』としてスタートします。

橋本さんに芸術展に関わるきっかけを聞いてみると、「知り合いにみの〜れでお茶の教室が開かれているから一緒にやろうよ！」と声をかけてもらい、柄にもなくお茶の作法を習い始めました。書道楽とあって、お茶に使う掛け軸や季節の花を愛でたりすることは認知症防止にもなるし楽しいです。その先生が芸術展のメンバーで、お世話になってるので関わるようになりました。」

橋本さんはオカリナも習って5年になるそうです。「オカリナは同年代の人が多いいので、楽譜を見て指先を使う・認知症防止に最高ですよ。発表会の時は3曲やうちの1曲は暗譜でやるうってことで頑張っています。練習は畑に作業場があるので昼休みに20分から30分練習するんですよ。耳で聞いた曲を楽譜も見ないで演奏する事もあります。仲間に凄いなって言われるんですよ」と橋本

さん。

「仕事もバリバリやるけど遊びもやる。子どもを育ててた頃は無我夢中でやっていましたが、今は仕事も楽しんでやっています。苦楽を共にした奥さんに先立たれたのが一番辛かったですね。今の一番楽しい事が一緒にできた良かったなと思います。長男夫婦と別棟ですが一緒に住んでいて孫が二人いるんですけど、美野里中の吹奏楽部に入っているんですよ」と笑顔で話してくれました。

『小学校5年から4年間新聞配達をしていました。苦労しましたけど決して嫌な思い出では無いんですよ。人生の肥して言うけど、人間は苦労した方がいいね。人に優しくしてもらえば優しくしてあげられる。若いときの苦労は買ってでもしろと言うけれど本当ですね。そういう理由からオカリナで当時を思い出して「新聞少年」という曲を吹くことになりました。』そう話す橋本さんの手は大きくて、たくさん働いた手をしていました。

「最高に幸せですね。人生楽園です。山歩きをしている時は、山の写真

を年賀状にしましたが歳をとって山歩きができなくなつたので今年初めて自分の写真を送ることにしました。茶道みたいな着物を着る世界に入るとは思ってたおばさんです。お茶を立てたり、ソコで演奏したりするのを知つたおばさんが着物を新調してくれたので着物姿の写真を送ることにしました」と嬉しそうに話してくれました。

「来年3月7日(土)から3月15日(日)まで、みの〜れ風のホールで、『たまご』の芸術展が開催されます。今から1回の会議の中でお客様に楽しんでもらえるようにいろいろ意見を出していると思います。芸術展のメンバーは高校生から自分が最年長かな？今までになく素晴らしい企画なので、たくさんの方に観てもらいたいですね。工夫を凝らして楽しんでもらおうと思っています」と話してくれました。

たまごの殻で創る素晴らしい作品展です。たくさんのお客様に観ていただきたいと思います。今年も一年間ありがとうございました。良いお年をお迎えください。

(藤田佐知子)